

**ポーラ文化研究所、フランス初となる江戸時代の化粧風俗を包括的に紹介する展覧会
「美の秘密—浮世絵に見る江戸時代の化粧と髪型」をパリで開催**
会期:2020年10月7日(水)~2021年2月6日(土)

ポーラ・オルビスグループで化粧文化に関する研究活動を行うポーラ文化研究所(東京都品川区)は、パリ日本文化会館(フランス・パリ)と「美の秘密—浮世絵に見る江戸時代の化粧と髪型」展を共催します。これまでフランスでは包括的に紹介されたことのない「江戸時代の化粧風俗」をテーマに、浮世絵 150 点と化粧道具など約 60 点を展示します。本展により日本の美意識や歴史への理解を深め、日仏文化交流の一助となることを目指しています。



「美艶仙女香」溪斎英泉 文化12~天保13年
(国文学研究資料館撮影)

浮世絵は日本を代表するアートとして知られていますが、江戸の人々の生活や流行を現代に伝える貴重な風俗資料でもあります。本展では、浮世絵の美しさだけでなく、描かれているイメージ(女性の化粧、髪型、仕草、背景など)から、江戸時代の化粧や美意識を読み解きます。さらに、浮世絵の中に描かれている当時の化粧道具や結髪雛形(日本髪再現模型)を併せて展示することで、浮世絵が描かれた時代の風俗を立体的に紹介します。

フランスにおいて浮世絵は高い人気を集め、これまででも紹介されていますが、化粧文化の観点から浮世絵と化粧道具を一体的に展示し、江戸時代の化粧風俗を包括的に紹介する展覧会はポーラ文化研究所共催の本展が初めてとなります。

展覧会概要

名称:美の秘密—浮世絵に見る江戸時代の化粧と髪型

(仏名 Secrets de beauté Maquillage et coiffures de l'époque Edo dans les estampes japonaises)

会期:2020年10月7日(水)~2021年2月6日(土)

※前後期制(前期:2020年10月7日~11月28日、後期:2020年12月3日~2021年2月6日)

休館日:日・月曜日および仏国の祝祭日、展示替え期間(11月29日~12月2日)、

年末年始休館(12月24日~1月4日)

※コロナウィルスの影響により、開館状況が変わる可能性があります。最新情報はパリ日本文化会館HPをご確認ください。

会場:パリ日本文化会館 展示ホール(101bis quai Branly 75015 Paris France)

主催:国際交流基金パリ日本文化会館、株式会社ポーラ・オルビスホールディングス ポーラ文化研究所

出品数:計211点(内訳:浮世絵150点、化粧道具・結髪雛形など61点)

※浮世絵は前後期で全点入れ替え(前期78点、後期72点)、その他は通期展示

URL:<https://www.mcjp.fr/ja/agenda/secrets-de-beaute>

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

【内容に関するお問い合わせ先】ポーラ文化研究所 Tel 03-3494-7250 / Mail infobunken@po-holdings.co.jp

【補足資料】: 展示会の構成と主な出品資料

第1章 化粧の情景—白・黒・赤の粧い

江戸時代の化粧は、白(白粉)、黒(お歯黒・眉墨)、赤(口紅・頬紅)の3色で行われていました。色白が美人の第一条件とされた江戸時代に最も重視された白粉化粧や、黒の化粧の社会的な意味、特徴的な赤の化粧の流行を紹介します。



金属製六角形菱蝶文紅板、紅筆、刷毛
江戸時代末期～明治時代

第2章 髪化粧の情景—日本髪と髪飾り

4つの基本型に始まる日本髪は、数百種類といわれるまで多様に進化していきました。おしゃれとしての側面に加え、髪型が女性の身分や年齢をも表していた社会的な側面にも光を当てます。



結髪雛形「燈籠髷島田髷」

第3章 身分とよそおい

江戸時代は身分社会であり、化粧や髪型、ファッションには様々なルールがありました。浮世絵に描かれた女性たちのよそおいを丹念に見ながら、身分や職業、階級などの違いや生活の様子を紹介します。



「江戸名所百人美女 今川はし」
三代歌川豊国 安政5年
(国文学研究資料館撮影)

第4章 江戸美人百花

浮世絵数十点から成る揃物「江戸名所百人美女」、「当勢三十二想」、「千代田之大奥」を取り上げます。庶民の女房から高位の遊女、御殿女中、大名の姫君にいたるまで、属性の異なる1人1人の女性美を見て取ることができます。

ポーラ文化研究所について

ポーラ文化研究所は、化粧を美しさの文化としてとらえ、学術的に探究することを目的として、1976年5月15日に設立されました。以来、日本と西洋を中心に、化粧文化に関わる資料の収集と調査研究を行っています。国内外の美術館への展示協力や、現代の化粧・美意識やライフスタイルに関する調査の実施・公開などを通じて、化粧文化への理解を広げるよう努めています。

ポーラ文化研究所 HP: <https://www.cosmetic-culture.po-holdings.co.jp/>

パリ日本文化会館について

国際交流基金のフランスにおける文化交流の拠点として1997年にパリ15区に開館。官民合同で運営。日本文化を幅広く、展示、公演、映画、講演会、図書館、日本語事業、子供向け事業、ワークショップ・教室等様々な形で発信し、日仏出会いの場となっています。

パリ日本文化会館 HP: <https://www.mcjp.fr/ja>